

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公開番号】特開2006-245931(P2006-245931A)
 【公開日】平成18年9月14日(2006.9.14)
 【年通号数】公開・登録公報2006-036
 【出願番号】特願2005-57839(P2005-57839)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/44 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月24日(2008.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放送局および番組に関する番組データと符号化された番組内容データとを含むデジタル放送を受信する受信手段と、

前記受信手段で受信されたデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データをデコードして出力するデコード処理手段と、

前記受信手段で受信されたデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データを前記デコード処理手段でデコードできるか否かを判断するデコード可否判断手段と、

前記受信手段で受信可能なデジタル放送ごとに、番組データと前記デコード可否判断手段の判断結果とを対応付けて記憶する検索手段と、

前記検索手段の記憶内容に基づいて、受信対象の詳細を示す詳細情報を作成して提示する詳細情報提示手段とを備え、

前記詳細情報提示手段は、デコードできないと判断された受信対象については、詳細情報を提示しないことを特徴とするデジタル放送受信装置。

【請求項 2】

前記検索手段は、デジタル放送ごとにかつ番組ごとに符号化された番組内容データをデコードできるかの判断結果を記憶し、

前記詳細情報提示手段は、受信対象としてデジタル放送ごとに詳細情報を提示した後、ユーザが選択したデジタル放送に含まれている番組ごとに詳細情報を提示し、

デジタル放送ごとに詳細情報を提示する場合、デコードできないと判断された番組のみを含むデジタル放送については詳細情報を提示せず、

番組ごとに詳細情報を提示する場合、デコードできないと判断された番組については詳細情報を提示しないことを特徴とする請求項 1 記載のデジタル放送受信装置。

【請求項 3】

前記検索手段は、デジタル放送ごとにかつ番組ごとに符号化された番組内容データをデコードできるかの判断結果を記憶し、

前記詳細情報提示手段は、受信対象として番組ごとに詳細情報を提示し、デコードできないと判断された番組については、詳細情報を提示しないことを特徴とする請求項 1 記載

のデジタル放送受信装置。

【請求項 4】

放送局および放送番組に関する番組データと符号化された番組内容データとを含むデジタル放送を受信する受信手段と、

前記受信手段で受信されたデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データをデコードして出力するデコード処理手段と、

前記受信手段で受信されたデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データを前記デコード処理手段でデコードできるか否かを判断するデコード可否判断手段と、

前記受信手段で受信可能なデジタル放送ごとに、番組データと前記デコード可否判断手段の判断結果とを対応付けて記憶する検索手段と、

前記検索手段の記憶内容に基づいて、受信対象の詳細を示す詳細情報を作成して提示する詳細情報提示手段とを備え、

前記詳細情報提示手段は、デコードできないと判断された受信対象については、詳細情報とともにデコード不可情報を提示することの特徴とするデジタル放送受信装置。

【請求項 5】

前記検索手段は、デジタル放送ごとにかつ番組ごとに符号化された内容データをデコードできるかの判断結果を記憶し、

前記詳細情報提示手段は、受信対象としてデジタル放送ごとに詳細情報を提示した後、ユーザが選択したデジタル放送に含まれている番組ごとに詳細情報を提示し、

デジタル放送ごとに詳細情報を提示する場合、デコードできないと判断された番組のみを含むデジタル放送については詳細情報とともにデコード不可情報を提示し、

番組ごとに詳細情報を提示する場合、デコードできないと判断された番組については詳細情報とともにデコード不可情報を提示することの特徴とする請求項 4 記載のデジタル放送受信装置。

【請求項 6】

前記検索手段は、デジタル放送ごとにかつ番組ごとに符号化された番組内容データをデコードできるかの判断結果を記憶し、

前記詳細情報提示手段は、受信対象として番組ごとに詳細情報を提示し、デコードできないと判断された番組については、詳細情報とともにデコード不可情報を提示することの特徴とする請求項 4 記載のデジタル放送受信装置。

【請求項 7】

前記詳細情報提示手段は、デコードできないと判断された受信対象が選択されたときに、デコード不可情報を音声出力で提示することの特徴とする請求項 4～6 のいずれか 1 項に記載のデジタル放送受信装置。

【請求項 8】

前記詳細情報提示手段は、デコードできないと判断された受信対象が選択されたときに、デコード不可情報を画像出力で提示することの特徴とする請求項 4～6 のいずれか 1 項に記載のデジタル放送受信装置。

【請求項 9】

前記詳細情報提示手段は、デコードできないと判断された受信対象についての詳細情報を、デコードできると判断された受信対象についての詳細情報とは異なる態様で表示することの特徴とする請求項 4～6 のいずれか 1 項に記載のデジタル放送受信装置。

【請求項 10】

前記受信手段は、携帯端末向けデジタル放送の受信が可能であり、

前記デコード処理手段は、前記携帯端末向けデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データのデコードが可能であり、

前記詳細情報提示手段は、前記受信手段で受信可能なデジタル放送の番組内容データについての判断結果がすべてデコードできないとの判断結果であるときは、前記携帯端末向けデジタル放送についての詳細情報を提示することの特徴とする請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載のデジタル放送受信装置。

【請求項 1 1】

番組に関する番組データと符号化された番組内容データとを含むデジタル放送を受信する受信手段と、

前記番組内容データをデコードするデコード処理手段と、

前記番組内容データを前記デコード処理手段でデコードできるか否かを、前記番組ごとに判断するデコード可否判断手段と、

前記番組それぞれの詳細を示す詳細情報を表示する詳細情報提示手段と、
を備え、

前記詳細情報提示手段は、デコードできると判断された前記番組の詳細情報とデコードできないと判断された前記番組の詳細情報とを異なる態様で表示することを特徴とするデジタル放送受信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 1 に係る発明は、放送局および番組に関する番組データと符号化された番組内容データとを含むデジタル放送を受信する受信手段と、

前記受信手段で受信されたデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データをデコードして出力するデコード処理手段と、

前記受信手段で受信されたデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データを前記デコード処理手段でデコードできるか否かを判断するデコード可否判断手段と、

前記受信手段で受信可能なデジタル放送ごとに、番組データと前記デコード可否判断手段の判断結果とを対応付けて記憶する検索手段と、

前記検索手段の記憶内容に基づいて、受信対象の詳細を示す詳細情報を作成して提示する詳細情報提示手段とを備え、

前記詳細情報提示手段は、デコードできないと判断された受信対象については、詳細情報を提示しないことを特徴とするデジタル放送受信装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、受信手段で受信可能なデジタル放送ごとに、番組データとデコード可否判断手段の判断結果とが検索手段に記憶される。デコード可否判断手段は、例えば受信された番組内容データの符号化方式がデコード処理手段でデコードできない符号化方式であるときや、電波の受信状況が悪くて受信された番組内容データが欠落しているなどのために前記デコード処理手段でデコードできないときに、デコードできないと判断する。ユーザが所望のデジタル放送や番組などの受信対象を選択する際には、検索手段の記憶内容に基づいて受信対象の詳細を示す例えば放送局名や番組名などの詳細情報が作成されて提示される。ユーザは、提示された詳細情報を参照して受信対象として所望のデジタル放送や所望の番組を選択する。受信装置では選択されたデジタル放送や番組が受信され、番組内容データがデコード処理手段でデコードされて出力される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

請求項４に係る発明は、放送局および放送番組に関する番組データと符号化された番組内容データとを含むデジタル放送を受信する受信手段と、

前記受信手段で受信されたデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データをデコードして出力するデコード処理手段と、

前記受信手段で受信されたデジタル放送に含まれている符号化された番組内容データを前記デコード処理手段でデコードできるか否かを判断するデコード可否判断手段と、

前記受信手段で受信可能なデジタル放送ごとに、番組データと前記デコード可否判断手段の判断結果とを対応付けて記憶する検索手段と、

前記検索手段の記憶内容に基づいて、受信対象の詳細を示す詳細情報を作成して提示する詳細情報提示手段とを備え、

前記詳細情報提示手段は、デコードできないと判断された受信対象については、詳細情報とともにデコード不可情報を提示することの特徴とするデジタル放送受信装置である。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

本発明によれば、受信手段で受信可能なデジタル放送ごとに、番組データとデコード可否判断手段の判断結果とが検索手段に記憶される。ユーザが所望のデジタル放送や番組などの受信対象を選択する際には、検索手段の記憶内容に基づいて受信対象の詳細を示す例えば放送局名や番組名などの詳細情報が作成されて提示される。ユーザは、提示された詳細情報を参照して受信対象として所望のデジタル放送や所望の番組を選択する。受信装置では選択されたデジタル放送や番組が受信され、番組内容データがデコード処理手段でデコードされて出力される。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３４】

請求項１１に係る発明は、番組に関する番組データと符号化された番組内容データとを含むデジタル放送を受信する受信手段と、

前記番組内容データをデコードするデコード処理手段と、

前記番組内容データを前記デコード処理手段でデコードできるか否かを、前記番組ごとに判断するデコード可否判断手段と、

前記番組それぞれの詳細を示す詳細情報を表示する詳細情報提示手段と、
を備え、

前記詳細情報提示手段は、デコードできると判断された前記番組の詳細情報とデコードできないと判断された前記番組の詳細情報とを異なる態様で表示することの特徴とするデジタル放送受信装置である。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４２

【補正方法】削除
【補正の内容】